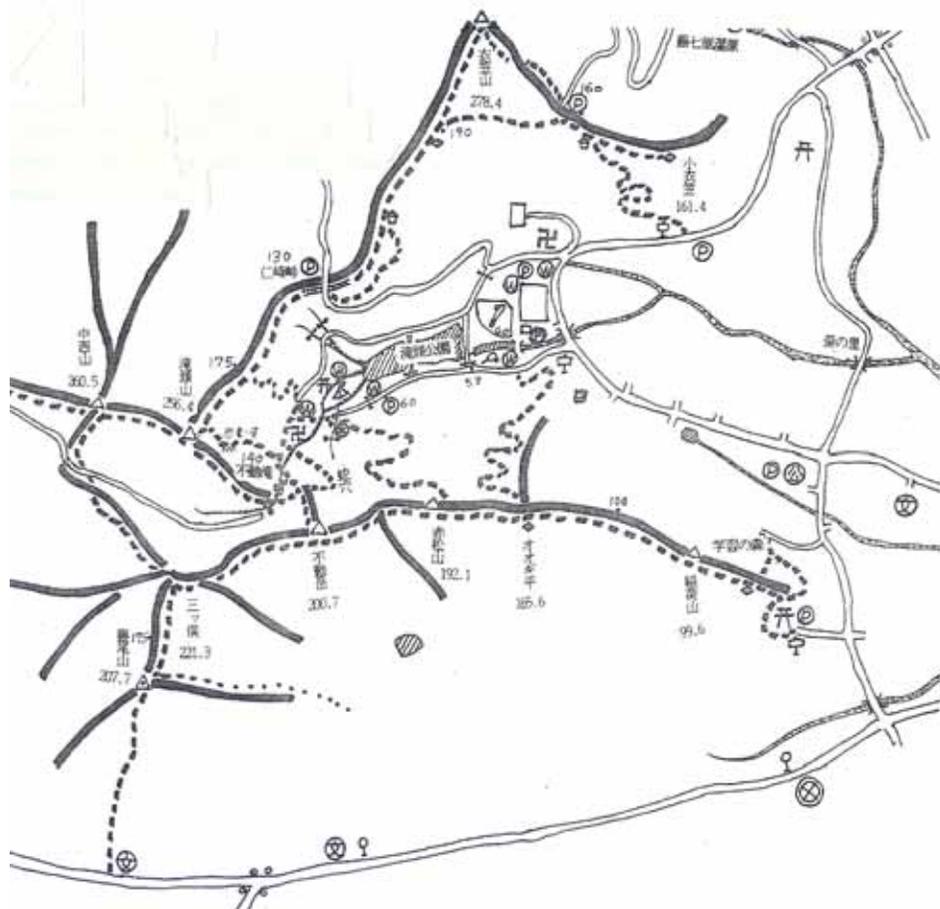


稲荷山周辺の自然歩道



* 1993年3月 たらめ会作成による「衣笠自然歩道」より一部抜粋して転載

自然保護憲章

- ・自然をとつとび、自然を愛し、自然に親しもう。
- ・自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう。
- ・美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

昭和49年6月5日制定

2004年 定例自然観察会

稲荷山・滝頭公園の自然観察



チョウトンボ

8月8日(第6回)

主催：NPO法人東三河自然観察会
後援：田原市・田原市教育委員会

トンボの仲間がたくさん



群舞するチョウトンボ
なく、オニヤンマやカトリヤンマもみられるかも。

稲荷山の近くにある小さなため池には、オオカナダモなどの水草が多く、トンボの住みやすい環境になっています。
チョウトンボが優雅にとんでいるよ。
ウスバキトンボ、シオカラトンボなどの常連ばかりで

夏の植物



その名もナツフジ

稲荷山の頂上付近で見事な花を咲かせています。
でも、巻かれたヒノキは大変。



コブシ

何でコブシ？
これを見てください。
赤ちゃんのこぶしのよう。

シダを見よう

シダには「花が咲かない」。種子の代わりに胞子で増える。
葉の裏にいっぱいいつている胞子を観察してみよう。



ベニシダ

東海地方でもっとも普通に見られるシダの一つ。
ベニシダの名前の由来は、葉の裏にできる胞子のうを被う膜（包膜）が写真のように鮮やかに赤く色づくから。



ジュウモンジシダ
葉が十文字になる。



ホソバカナワラビ
葉に金属のような光沢がある。
地下茎を横にはわせて群生する。



イノデ

春、芽が出てくるときにイノシシの手のように毛むくじやらののでこの名が付いた。